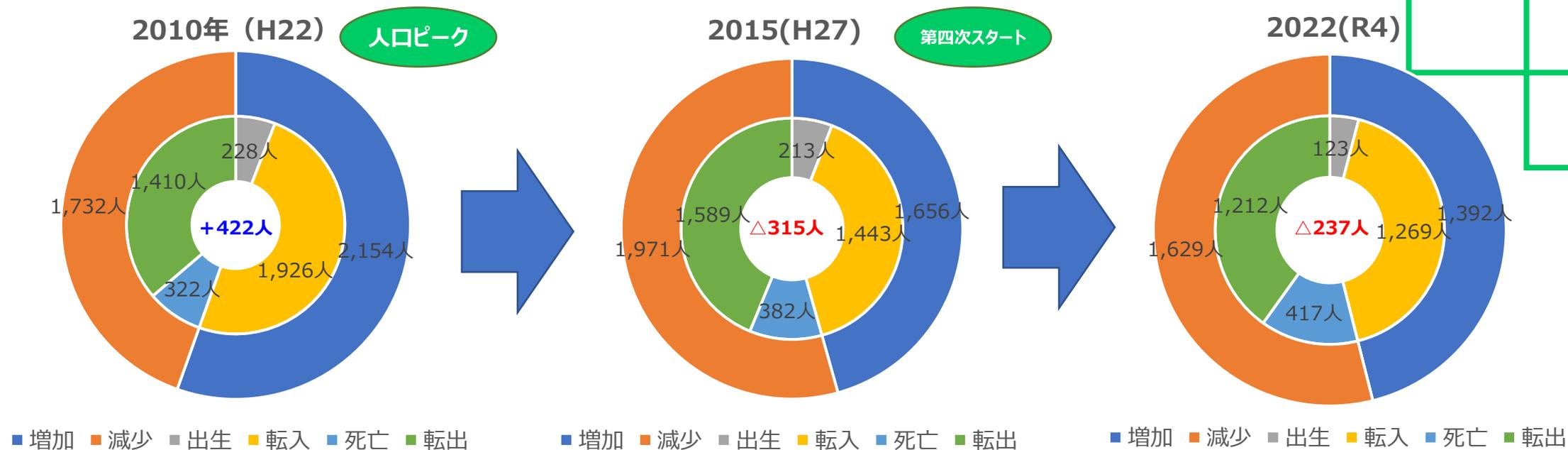


令和 5 年度第 2 回葉山町総合計画審議会 2023.09.11

葉山町政策財政部政策課

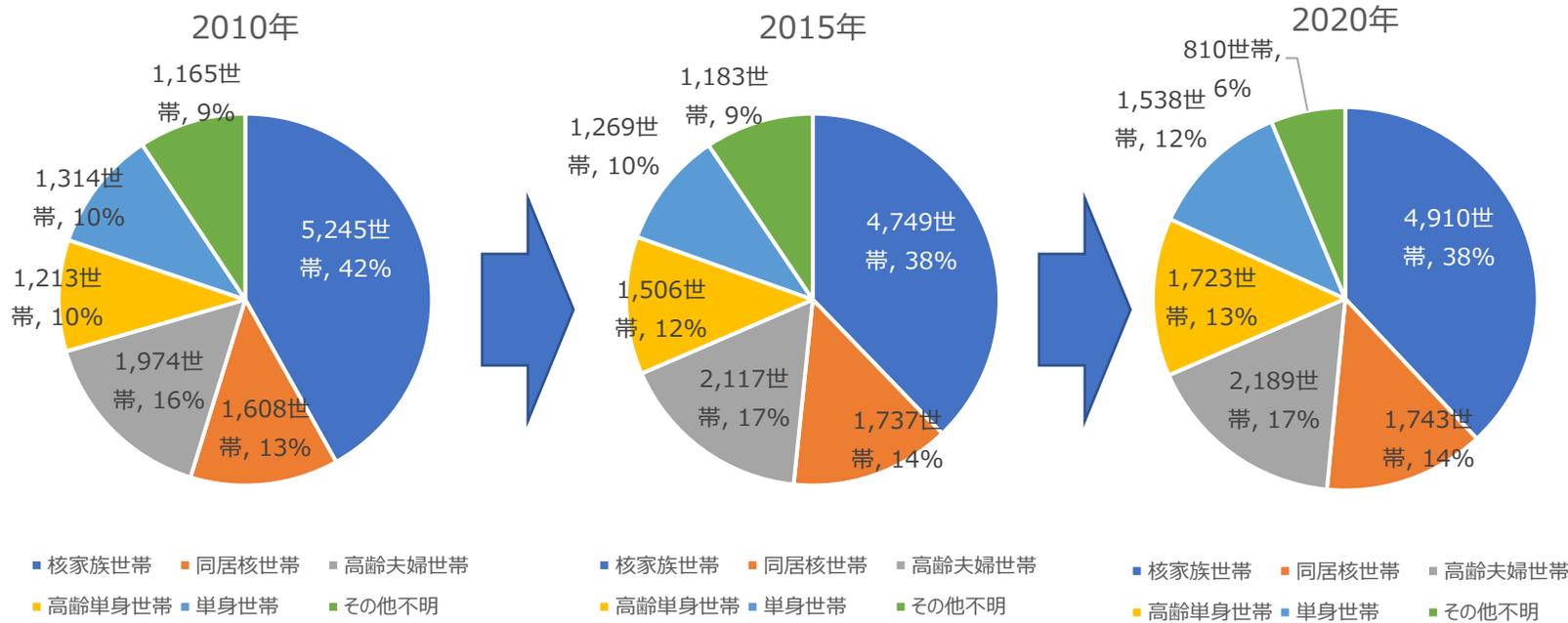
1. 人口減少がもたらす町への影響

(1) 人口増減の推移 (住民基本台帳移動データより)



- 2010年を人口のピークに、**出生数と死亡数の差を転入数ではカバーできずに微減傾向が続く。**
- 2010年⇔2022年
 自然増減 (出生数-死亡数) $\Delta 94$ 人 (2010) $\Rightarrow \Delta 294$ 人 (2022)
 社会増減 (転入増-転出数) $+516$ 人 (2010) $\Rightarrow +57$ 人 (2022)

(2) 世帯数の推移 (国勢調査より)



- 人口は2010年をピークに減少し始めたが、世帯数は増えている。
- 高齢単身世帯は2010年比で2020年には約40%、単身世帯は約20%増加している。
- 65歳未満の核家族世帯は減少傾向にあるが、依然として町の4割は核家族世帯が占める。

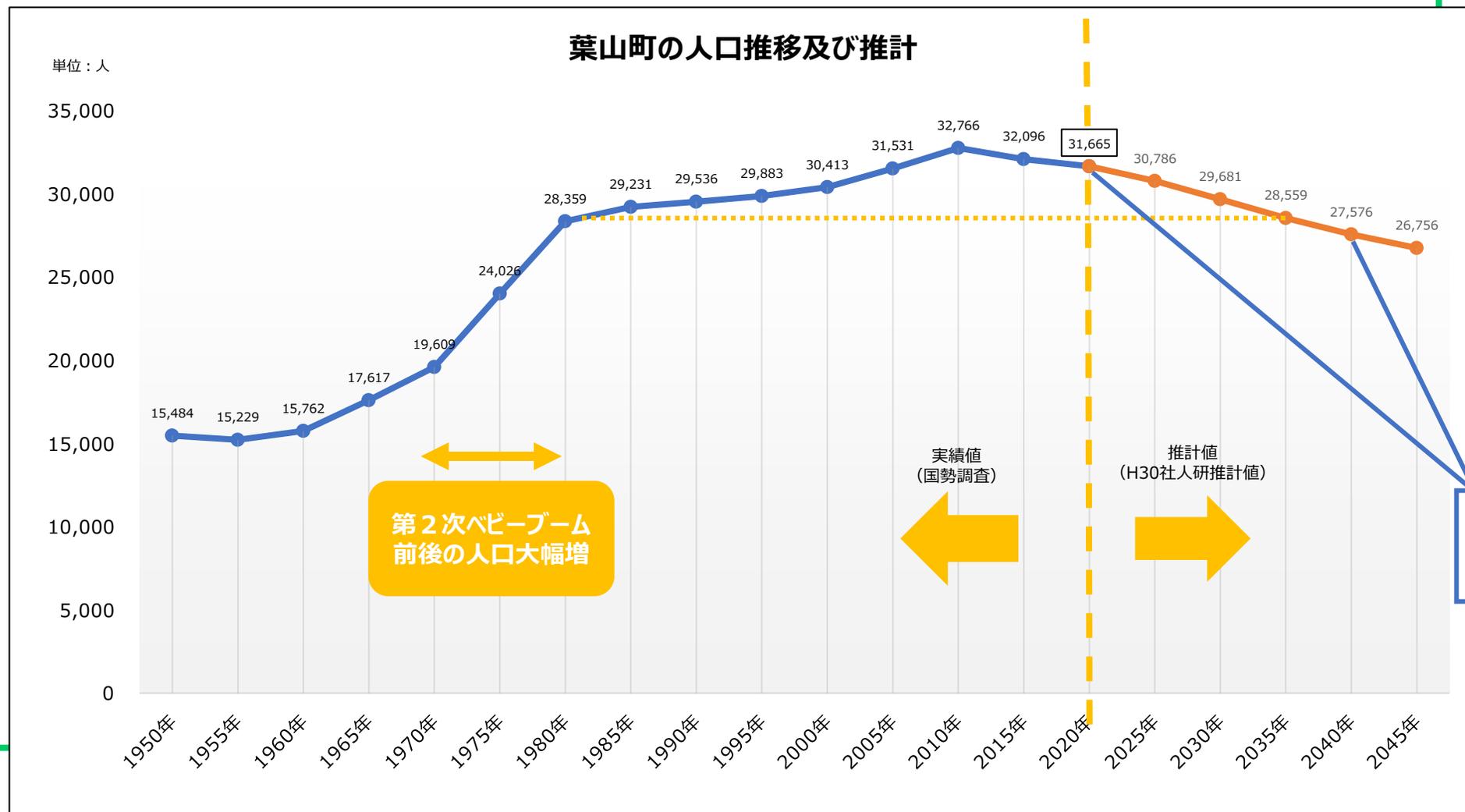
	2010年	2015年	2020年
核家族世帯 (65歳未満)	5,245	4,749	4,910
同居核世帯 (65歳以上含む)	1,608	1,737	1,743
高齢夫婦世帯 (65歳以上)	1,974	2,117	2,189
高齢単身世帯 (65歳以上)	1,213	1,506	1,723
単身世帯 (65歳未満)	1,314	1,269	1,538
その他不明	1,165	1,183	810
総数	12,519	12,561	12,913

これからの葉山町でも同様の傾向が続くと考えられる。

- 子育て世帯
- 高齢者世帯 (夫婦・単身)

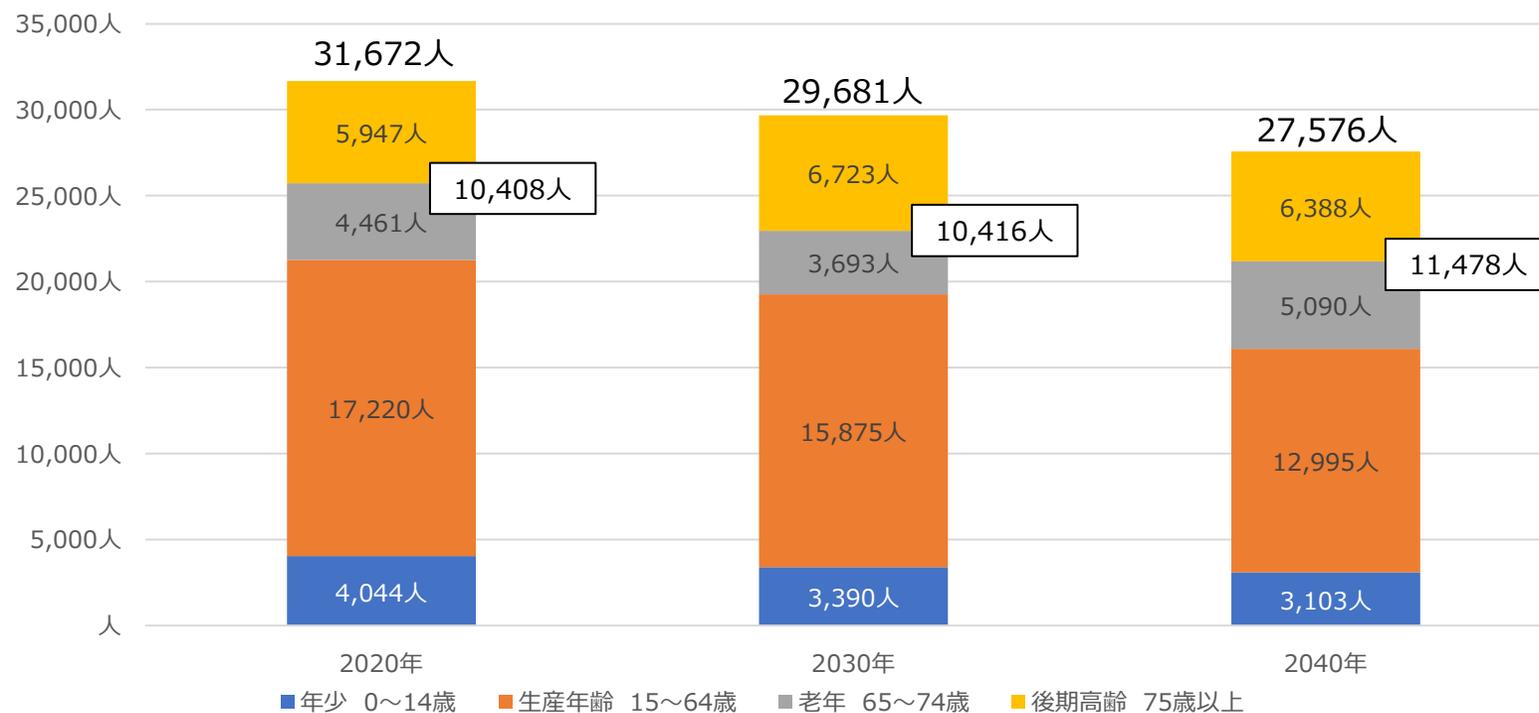
を大きなテーマとして考えていく必要があるのではないか。

(3) 人口推計 (H30社人研推計より)



- 人口は2010 (H22) 年をピークに減少傾向に転じている。
- 2035年には28,000人台に、2040年には27,000人台(1970年代と同水準の人口) となる。

(4) 年齢区分毎の推計 (H30社人研推計より)



2020年比で2040年には、生産年齢人口は約4,000人（約-25%）、年少人口は約900人（約-23%）減少し、老年人口（後期高齢含む）は約1,100人（約10%）増加する。

(5) 人口減少がもたらす町への影響・課題

① 子育て・教育

- ・児童・生徒数の減少
⇒学校施設の余剰
⇒**学校の統合**
- ・生産年齢人口の減少
⇒教員の人材不足
⇒**教育の質の低下**

② 福祉

- ・高齢者（夫婦・単身）世帯の増加
⇒つながりの希薄化
⇒**高齢者の孤立**
- ・生産年齢人口の減少
⇒高齢者の支援を担う人材の不足
⇒**介護サービス等の低下**

③ 地域生活

- ・単身世帯の増加
- ・地域とのつながりの希薄化
⇒町内会等の担い手不足
⇒**社会からの孤立**
⇒**防犯力・防災力の低下**

④ 産業

- ・市場の縮小
- ・生産年齢人口の減少
⇒後継者不足
⇒**地場産業の衰退**

⑤ 環境

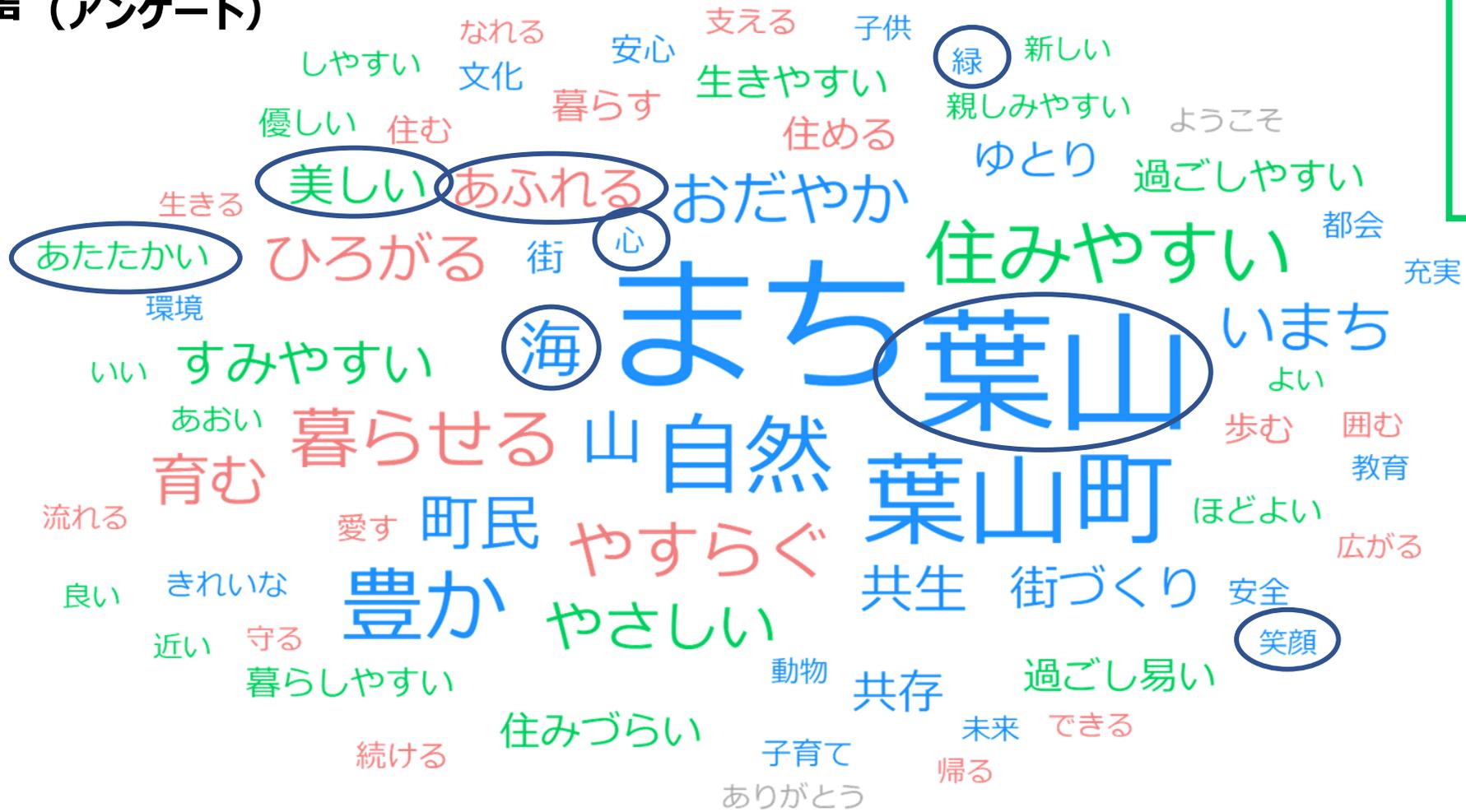
- ・山林の更なる荒廃
- ・耕作放棄地の増加
⇒担い手不足
⇒**海・山が一体となった生態系の悪化**
- ・空き家の増加
⇒管理しきれない
⇒**生活環境の悪化**

⑥ 行財政

- ・税収の減少
- ・社会保障費の増加
⇒財源不足
⇒職員の減少
⇒**行政サービスの低下**
⇒**インフラが維持できなくなる**

2. 町民の声（アンケート・WG） から見える町に望む姿

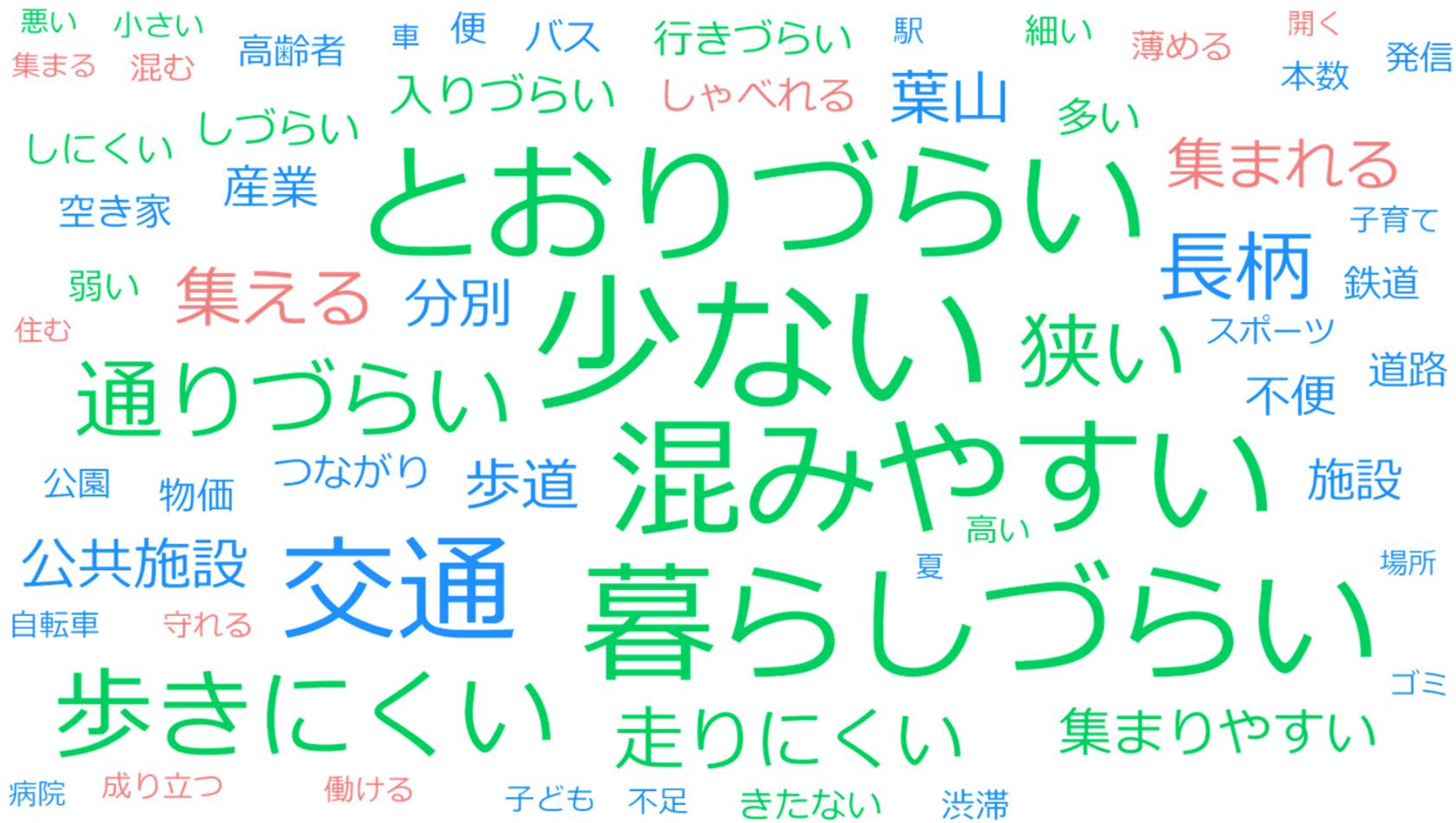
(1) 町民の声 (アンケート)



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

町民アンケートQ.27「将来の葉山町の目指すべき姿として、どのような「言葉（キーワード）」「キャッチフレーズ」がふさわしいと思いますか。」の回答文をAIにスコア順に分析させた結果です。

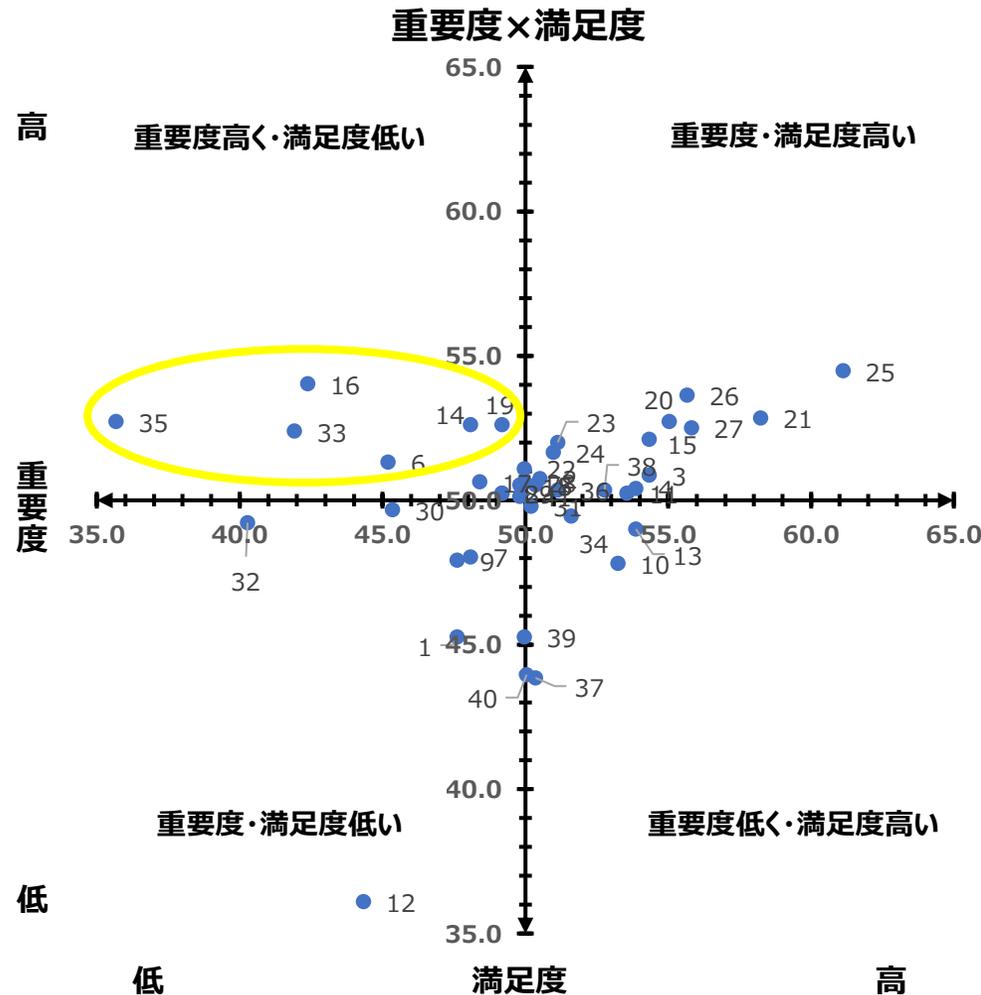
(3) 町民の声 (WG) 町の弱み



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

町民WGで実施した「葉山の強み・弱み」で挙げた「町の弱み」の回答をAIにスコア順に分析させた結果です。

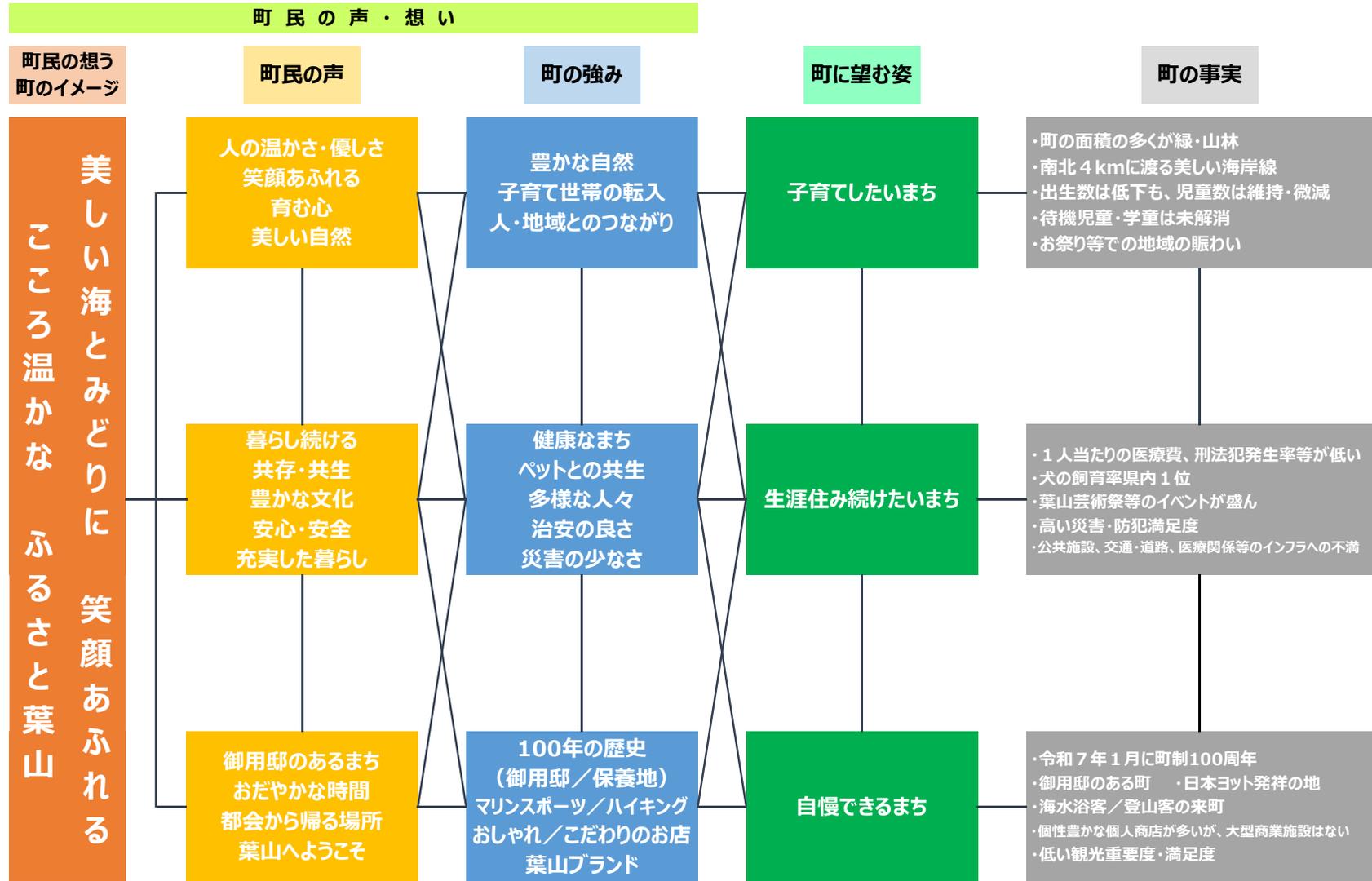
(4) 単位施策の重要度×満足度 (アンケート)



施策No.	指標名	施策No.	指標名
1	教育推進	22	地球温暖化
2	人材育成	23	公共下水道
3	豊かな心の育成	24	浄化槽
4	健やかな体の育成	25	消防・救急
5	支援充実	26	災害対策
6	学校環境	27	防犯・交通安全
7	生涯学習	28	相談体制
8	青少年育成	29	地域まちづくり
9	生涯スポーツ	30	公園
10	芸術・文化	31	水辺環境
11	図書館	32	幹線道路
12	姉妹都市交流	33	町道整備
13	人権・平和	34	橋梁維持
14	子ども・子育て	35	公共交通
15	健康づくり	36	農水商連携
16	地域医療	37	観光振興
17	地域福祉	38	広報広聴
18	高齢者	39	協働のまちづくり
19	障害児者	40	コミュニティ
20	緑保全	41	公共施設管理
21	循環型社会		

- 単位施策の満足度と重要度のそれぞれの平均値を50とし、マトリックス図の作成を行った。
- 各単位施策は概ね50付近へ収束するが、重要度が高いと町民が感じる施策もいくつか見られる。
- 重要度が高く・満足度が低い施策については、WGでの町の弱みとリンクする部分もある。

(5) 町民の声から見える町に望む姿①



(6) 町民の声から見える町に望む姿②

子育てしたいまち

豊かな美しい自然の中でのびのびと子どもを育てられるまち。そして、葉山らしい教育や子どもの居場所を地域と関わり合いながら作っていけるまちを目指していきたい。

生涯住み続けたいまち

子どもから高齢者まで、何歳になっても社会・地域と関わり合うことができるまち。そして、これからの100年も安心・安全に暮らし続けられるまちを目指していきたい。

自慢できるまち

御用邸などのこれまでの歴史と、現在の町に関わる人々が織りなす多様な文化、未来へ向けての環境のまちへと、住んでいることに誇りを持ち自慢できる、そして、町外の人には「いつかは葉山へ」と思われるまちを目指していきたい。